



山陰教区寺族婦人会連盟 50 周年記念大会 2019 (令和元) 年 10 月 10 日、ビッグハート出雲にて開催 (10 ページに記事)

山陰

TEL 〇八五二 〇四七四七
FAX 〇八五二 〇八三五一
発行 佐々木了慎

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会
発行 山陰教区事務所
〒690-0003 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂

本願寺念仏奉仕団について

念仏奉仕団の参加者数が、二〇一八年度、山陰教区が全教区中でトップとなりました。愛山護法の思いでご参加・ご尽力賜っておりますこと、衷心より御礼申し上げます。本山から教区のみなさまへ御礼の言葉が届きましたので、ご紹介いたします。

本願寺参拝教化部 部長

下 間 要 信

平素から山陰教区のみなさまには、本願寺の護持発展のため、多大なるご尽力を賜っておりますこと厚く御礼を申し上げます。

山陰教区は、多くの妙好人が輩出されたご法義篤い地であることから、積極的な教化伝道に取り組みまれていると聞かせていただいております。

特に念仏奉仕団では、ご寺院さまをはじめ毎年多くの門信徒の方々にご参加をいただいております。昨年度の参加者数一〇、三九二名のうち、山陰教区からは一、三三二名(児童念仏奉仕団参加者含)と全国トップのご参加をいただいたことであります。誠にありがとうございます。

念仏奉仕団は、一九四八(昭和二十三年)の蓮如上人四五〇回遠忌法要に参拝された方々が、戦争で荒廃していた本願寺境内地に心を痛められ、自主的に来山奉仕されたことに始まり、一九五三(昭和二十八)年にご奉仕いただく仕組みが調えられ、一九六一(昭和三十六)年の親鸞聖人七百回大遠忌法要の頃から一泊二日の日程が定着したと言われて

います。

蓮如上人『御一代記聞書』をうかがいますと「一日のたしなみには朝つとめにかかさじとたしなむべし。一月のたしなみにはちかきところ御開山様の御座候ふところへまゐるべし」とたしなめ、一年のたしなみには御本寺へまゐるべしとたしなむべし」とのお言葉が示されています。

毎日のお内仏でのお勤めとお給仕、月に一度の近くのお寺への参拝と奉仕、そして、年に一度は御正忌報恩講法要等へのご参拝をはじめ、本願寺念仏奉仕団にご参加いただきたく存じます。

六十年以上つづく念仏奉仕団、これまでご奉仕くださった方々にあらためて感謝いたしますとともに、今後多くの方々にご奉仕いただけるよう参拝教化部として更に取り組みを進めてまいります。何卒、山陰教区のみなさまにおかれましては、引き続きご奨励・ご参加をくださいますようお願い申し上げます。

ご信息披露総局巡回・公聴会

二〇一九（令和元）年九月二十六日（木）午後一時から午後四時三十分まで、山陰教堂本堂にて「親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年についてのご信息披露総局巡回並びに公聴会」が開催されました。

宗派からは、石上智康総長をはじめ、深水健司特命布教講師など、五名のご出向をいただき、教区内からは、住職をはじめ坊守、門徒、宗会議員、教区会議員、組長、実践運動関係者の皆さまなど総勢六十五名のご参加をいただきました。

午後一時からは、第一部として石上総長から二〇一九年一月九日に専如ご門主様から発布賜りました、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年についてのご信息披露があり、佐々木教務所長が拝受しました。引き続き記念法話を深水先生からいただきました。

午後二時からは、第二部として公聴会が開催されました。まず、報告事項として、「子どもたちの笑顔のために募金」のお願いについて、親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要の意義について、「得度式規程」「教師規程」「布教使課程設置規程」等の制定について、宗派

から説明がありました。続いて協議事項として「賦課基準の見直しについて」「僧侶育成体系プロジェクトについて（住職・坊守）」に関する説明がありました。

参加者からの意見聴取・提言の中では、宗門の財源確保に関して、本山の文化財の有効活用について提案があり、宗派出向者からは、本願寺への貴重なご意見として持ち帰るとの回答がありました。また、「宗門財政構想委員会」からの総局への中間答申において、五%の範囲内における教区護持口数の減数の調整ができる旨の答申が示され、教区間、あるいは教区内でも生じている不公平



感の是正を考慮したものの説明がありました。

また、坊守へのサポート制度について評価する意見や、宗派として寺族婦人会組織の結成を願う提言がありました。

最後に総長から「宗門は今、静かに大きく自己変革をしようとしている。宗門の将来を見据え、現代人に

仏法が正しく、感度よく、分かりやすく、ありがたく伝わるような施策を推進していく必要がある、宗門総合振興計画において、これに着手している。これからの時代、仏法の担う使命は益々大きくなる。皆さまとともに心を合わせて一步一步前進していきたい。」とまとめがありました。

二〇一九（令和元）年度 山陰教区僧侶研修会

九月四日（水）、出雲市民会館において僧侶研修会を開催しました。

ご講師は白川晴頭師（安芸教区豊田東組専教寺ご住職、中央仏教学院前院長）。「なぜ仏法を聞かなければならないのか」をテーマにお話をいただきました。

参加者からは、「わかりやすく例え話を入れてご講話をいただき、ありがたかった。」「講題の『なぜ』の部分が良いわかりました。」との声をいただきました。

午後からの勤式講習会では、小原静伍教区勤式指導員から、報恩講のお勤めについての講習をいただきました。今年度の教区勤式練習所では、報恩講で必要なお勤め・作法の講義を連続して開いており、その総まと

め的な講義でした。
約六十名のご参加をいただきました。



初心者のための浄土真宗 (若婦人間法をつどい) 開催

期 日 二〇一九 (令和元) 年
七月十四日 (日)

会 場 山陰教堂 教化センター
参加者 三十八名 (子ども含む)

昨年度に引き続き小池秀章先生を
ご講師にお迎えし、「浄土真宗って、
どんな教え？」をテーマにお話をし
ていただきました。先生は、元中学
校・高等学校の宗教科の教師で、現
在は大学や各種研修会の講師をしな
がらみ教えをわかりやすく伝える表

現方法も研究されておられます。こ
のたびも参加者からは大変好評で、
「先生のお話がとてもわかりやすく
浄土真宗のあたかさを感ずること
ができました。」「今回はまだ深い話
は入っていないと言っておられたの
で、もっと深いところまで聞いてみ
たいと思いました。」「一つ一つのお
話を自分の身に置き換えて考えるこ
とができたように思います。」など
ご感想をいただきました。

同朋社会研修会

期 日 二〇一九 (令和元) 年
七月十七日 (水)

会 場 あすてらす (大田市)
参加者 一二〇名

児童養護施設光明童園施設長の堀
浄信先生を講師にお迎えし、「貧困
の克服に向けて子どもたちを育む
ために」をテーマにお話をしてい
ただきました。同朋社会部会では、
例年様々な社会問題を取りあげ研修
会を開催しておりますが、昨年度と
本年度は、「貧困の克服」について「学

ぶ」ことを目的に開催をしました。
ご講師からは、現在の子どもの取り
巻く現状と施設での活動について、
エピソードを交えながら心温まるお
話をしていただきました。参加者か
らは、「今日からでもできる具体例
(季節里親)を聞けて良かったです。」「
初めて児童養護施設の話聞き、触
れることで一歩を踏み出しました。」「
「貧困」金銭と聞いていましたが、子
どもの現状がわかりました。」「貧困
の克服がつながりを育むことだとい
う切り口が見えた気がしました。」な

ど多くのご感想をいただきました。



法衣・仏具製造及び販売

代表取締役社長 今岡規代
●本社
060-8468
京都市下京区堀川通
新花屋町角 (西本願寺前)
Tel 075-351-1234
0120-075-720
Fax 075-341-7905
●東京店
160-0008
東京都新宿区四谷
三栄町十四番地二一
Tel 03-3358-1500
Fax 03-3359-8902



井筒法衣店

IZUTSU SINCE 1705

印刷と出版でできること。

編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。

人と向き合い、地域と向き合い一緒にってつくること。
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。



お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷

ハーベスト出版



山陰教堂にて若い世代を対象とした行事 「寺フェス」を開催

「生きるって…?」わたしの居場所

九月二十九日(日)、山陰教堂において「寺フェス」を開催しました。これまでお寺にご縁のなかった若い世代の方々に、様々な催しを通して、阿弥陀如来さまの願いに遇っていただくための企画です。

子ども・若者の生きづらさや苦悩を少しでも理解し、寄り添ってくれる人がいる居場所として「お寺」があることを知ってもらい、広めていくことを目的としています。

主催は実践運動教区委員会寺院活動支援部会、企画は教区子ども・若者ご縁づくり担当者会。山陰教堂でこのような催しを行うのは初めてのことです。また、実践運動の部会が催しを主催するのも、教区では初の試みです。

午前十一時に開会。教化センター研修室には出店ブースを展開。似顔絵(江津組正福寺・三浦志保子さん)・雅楽体験(雅龍会)・お香づくり(荒木文之助商店)・お稚児体験といったワークショップ、仏教婦人会の皆さまによる採れたて野菜販売ブース、青年僧侶による「お坊さんと話そう」コーナーを設置しました。また、教堂の各スポットには、少年連盟の皆

さまにご協力いただき、お子さん向けの「謎解き」を設置しました。

駐車場も屋外スペースとして開放し、ご来場の皆さまにリラクセスしてくつろいでいただきました。

本堂では、午前と午後に法要をお勤めし、教区布教団の若手布教使からご法話をいただきました。

午前の法要では、佐々木了慎主管が導師を務め、雅龍会の皆さまの雅楽演奏と松江組眞光寺の皆さまによるコーラスで、音楽法要をお勤めしました。午後の法要では、雅龍会の皆さまを中心に往生礼讃のお勤めをいただきました。

また、雅龍会の皆さまには雅楽の演奏会を、眞光寺の皆さまには、仏教讃歌のコンサートをそれぞれ行っていたいただきました。

午後四時、「寺フェス」は、ピアノとバイオリンのコンサートで幕を閉じました。演奏は、地元で活躍のピアノとバイオリンの親子デュオ「まい&れいれい」さん。多くの来場者が二人の演奏に魅了されていました。教堂を終日解放して催しを行うのは初めてだったこともあり、運営に当たっては、地元・松江組の方々に

もお手伝いいただくなど、多くの皆さまのご協力をいただきました。一日を通しておよそ五十名のご来

場がありました。関わってくださいました皆さまのおかげで、無事開催することができ、ありがとうございます。



コンサート



音楽法要



会場入口



雅楽演奏・解説



似顔絵コーナー



法話



稚児体験



野菜販売

若寺族婦人研修会 『お寺はみんなのダイバーシティ』

七月二十五日、鳥取伯耆組本巖寺（境港市）を会所として、二〇一九（令和元）年度若寺族婦人研修会を開催しました。

午前中は、江津組光善寺（波積）ご住職・波北 顕 師をご講師として「お寺はみんなのダイバーシティ」と題し、お話をいただきました。ダイバーシティ（diversity）は、もともと「多様性」という意味の英単語で、個々人の「違い」を尊

重し受け入れる考え方のことです。

ご自身の経験や、マンガや物語の登場人物・ストーリーをもとに、生きづらさ（マイノリティ）や多様性（ダイバーシティ）の例をご紹介いただきながら、最後に、それらを受け入れるお寺の役割についてお話しいただきました。

午後には、お寺から歩いてすぐのところにある水木しげるロードを散策。

水木しげるロードは一年前にリニューアルされ、歩道が拡張され歩きやすくなり、休憩場所も増えていきます。

参加者の皆さんは、「水木しげる記念館」を見学した後、新しい町並みを散策して楽しんでおられました。

今年度の担当は、鳥取伯耆組寺族婦人の皆さん。企画段階から大変お世話になりました。また、本巖寺様では仏婦の皆さんにもお世話になり、クーラーの効いた涼しい本堂で快適に講義を受ける事ができました。誠にありがとうございました。

子ども・若者ご縁づくり連絡協議会

二〇一九（令和元）年八月二十九日、山陰教堂教化センター研修室にて、山陰教区「子ども・若者ご縁づくり連絡協議会」を開催しました。

この連絡協議会は、子ども・若者ご縁づくりの推進に向け、教区マネージャー及びサポーターの役割を充実させるとともに、教区内寺院へのご縁づくり活動の周知・理解を深め、現場に応じた活動を推進することを目的とするものです。宗派から推進室マネージャーに出向いた

き、併せて山陰教区における子ども・若者ご縁づくり推進についてご関係の方々と話し合いの場を設けさせていただきました。

参加対象は、組サポーター・実践運動寺院活動支援部会部員・組長・各組からの希望者・教区マネージャー。二十名のご参加をいただきました。

はじめに、藤間幹夫 師（宗派子ども・若者ご縁づくり推進室マネージャー、備後教区マネージャー）か

ら、講義をいただきました。

パワーポイントを使い、①子ども・若者ご縁づくりの「願い」と「理念」、②教区マネージャー・サポーターの役割、③これからのご縁づくり活動について、それぞれ説明をいただきました。

その後、西原真公教区マネージャー（佐波組浄土寺）の進行で全体協議会を行いました。今後の子ども・若者ご縁づくり、ITを活用した伝道活動など、活発な意見交換、ご提言をいただきました。



第十六回世界仏教婦人会大会に参加して

山陰教区仏教婦人会連盟 副委員長 田 野 美恵子

霧のゴールデンブリッジが迎えてくれたサンフランシスコで、八月三十一日・九月一日、世界仏教婦人会大会にご縁をいただき参加しました。

一日目は、開会式、基調講演、ワークショップA・B。二日目は各地区開教区からの体験発表、閉会式がありました。

「二河白道」、お念仏の鏡(南無阿弥陀仏)の前に立つ方法のお話や、「諸行無常、縁起、四諦」などの仏教概念が、私たちの苦悩を理解するのを手助けし、苦しみから解放するという仏教をベースにした心理療法和治療についての講演。迷いの唯中にいた自分が、仏教と出遇い、様々な苦しみをどのように乗り越え、感謝の生活や社会活動に貢献して現在があるのか、いかに仕事に生かしているのか、という力強く、ユーモアたっぷりの体験発表がありました。

閉会式では、大迫五十鈴総連盟会長が大会旗を引き継ぎ、四年後の日本での再会を約して終了しました。

お念仏の道を歩む世界中の参加者

と交流を深めることができた、感動と充実の二日間でした。

また、ロサンゼルス別院に参拝し、日系の方々のお話を伺いました。戦時中のご苦労が偲ばれ、この地で、仏教を守り伝えてこられた喜びも感じられ嬉しく思いました。

旅行中の食事は、量の多さには驚きましたが、思ったよりあっさりしていて食べやすく、コーヒーもとてもおいしかったです。

また、観光も楽しみ、移動のたびに飛行機に乗りました。ハリウッドやエンゼルススタジアム・たくさん丘があり、起伏の激しいサンフランシスコ市内・世界遺産のグランドキャニオン・眠らない町ラスベガスの夜景等々。広々とした大地、乾燥した空気、大らかな気質、スケールの大きさを、肌で感じる事ができました。

これからの人生に大きな意味を持つ世界大会の旅でした。感謝！



このQRコードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み込むと、山陰教区のホームページをご覧ください。

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩



感謝

ぶつだんの

内田恵造商店

・木次・ 0854-42-0266 ・下熊谷・ 0854-42-3711 ・出雲・ 0853-21-3253

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店

寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社

古田た佛具製作所

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036

二〇一九(令和元)年度 青年布教使研修会及び大会所感

大田東組 松林寺 林 彰

この度九月二日、青年布教使研修会及び布教使大会(会所…三隅組明顕寺)に参加させていただくご縁をいただきました。午前中は備後教区

の那須英信先生からご指導いただきました。わざわざ遠くからご足労いただきましたこと、ありがとうございました。短時間ではありましたが、大変実りのある研修会でした。お聖教の難しい御文を一字ずつ丁寧に解説くださいました。とことん掘り下げていきますと、違う見方に気づかせていただきました。先生は新しいことを布教で取り入れるのではなく、基礎を固めることを重視するようおっしゃられていました。「お同行にわかりやすく、丁寧にお取次ぎをしたうえで、布教に臨むこと、そこを疎かにしてしまつては浄土真宗の法話ではない。」「この研修会を通して自分の足元、襟を正して、覚悟を持ったうえで望めないのであれば、布教をする資格はない。」と、大変厳しいお言葉をいただきましたが、それは紛れもない事実であり、自信の心構え、身なりを整えることを改めて確認することができました。この場をお借りして、感謝の言葉を述べさせていただきます。ご指



導いただきました。ありがとうございました。

研修会の後に、午後から青年布教使大会が催されました。私はこのたび出講依頼をいただき、僭越ながら、先輩布教使方、多くのお同行の前でお取次ぎさせていただきました。有り難いご縁をいただきました。布教団青年代表の佐々木かおりさんに感謝の意を表します。ありがとうございました。初めて自坊以外で法話のお取次ぎということもあり、落ち着いて臨むことが難しかったです。また法話の構成と時間の割合は事前に準備

してはいましたが、なかなか思い通りにはいきませんでした。今回の布教大会を通して、今自分はどのくらい法話のお取次ぎができるのか、改めて気づかせていただきました。

お忙しい中、たくさんのお同行、先輩布教使方、そして那須英信先生

からご指導ご教導いただきましたこと、ありがとうございました。この研修会、布教使大会を通して自身のありようを気づかせていただき、お聖教、お念仏にどう向き合えばいいのか、学ばせていただいた、有り難い一日でありました。 合掌

仏教婦人会連盟 実践運動研修会

期 日 二〇一九(令和元)年

九月二十五日(水)

会 場 出雲市民会館 三〇一会議室
参加者 九十四名

ご親教「私たちのちかい」をテーマに、宗派総合研究所教学伝道研究室長の佐々木義英先生をご講師に迎え研修会を開催いたしました。講義では、「私たちのちかい」はご親教「念仏者の生き方」が背景にあることや、仏教の歴史的な歩みと教義について、そして、念仏者の実践という点についてお話をさせていただきました。アンケートでは、「浄土真宗の興った時代の流れ、過去の方々のご苦勞があったものであることに、改めて気づかされ、有り難く尊いものであることが心にしました」「学問としてのお話を聞かせていただ

き、教学のお話も聞けて少し違ってよかったです。」「法座はなるべく出席しています。が、今まで聞けなかったことを詳細に説明してくださり大変勉強になりました。」など感想をいただきました。



山陰教区門徒総代会研修会

二〇一九（令和元）年十月十八日（金）午前十時三十分から午後三時まで、出雲市の「ビッグハート出雲」を会場として「山陰教区門徒総代会研修会」が開催されました。テーマを代表理事会で協議した結果、「楽しいお寺のつくり方」と掲げ、当日は二百名を超えるたくさんの方の参加をいただき賑やかに開催されました。開会式のあと、パネルディスカッションを行いました。座長に上田正吉会長、パネラーとして鳥取ブロック代表の村上征男様・出雲ブロック代表の森岡俊則様・石見ブロック代表の鎌原茂幸様から、それぞれ事例紹介、ディスカッションをいただきました。住職の代表として神門組組長・藤野昭信様にアドバイザーとしてご登壇いただき、適切な指摘をいただき、有意義なパネルディスカッションとなりました。

昼食休憩のあと、アトラクションとしてテーマに沿って松江市在住の落語家「春雨や落雷師匠」から落語を披露いただき、会場は大きな笑いに包まれました。

最後に、ご講師として、江津組浄光寺能美顕之住職から「みんなのお寺」と題してお話をいただきました。

大きなスクリーンでパワーポイントを使いながら、まるでテレビを見るかのように分かりやすいお話でした。先生ご自身の住職継職法要から、現在の「音縁」と名付けられたイベントまでの一連の流れを順序だててお話をいただきました。結論では「本来、お寺にはお聴聞にきてくださることが重要であるが、その前段階としてお寺の存在をPRしていかなければ、今後お寺は瞬く間にだめになるかもしれない。さらに、三十年後には門徒制度はなくなるかもしれない。そのような危機感を皆で共有すべきである。門徒の先頭に立つ総代さまにはPR、声掛けをしていただくことが必要であり、お願いしたい。」とまとめられました。



第四連区青年布教使研修会に参加して

鹿足組 誓立寺 朋 澤 融 智

十月一日・二日に塩屋別院（香川県）を会場に第四連区青年布教使研修会が行われました。初日は二つの会場に分かれて、布教実演を行い、二日目は差別や現在の東北の現状などの講義を聴くという日程でした。

私は初日の布教実演に出講させていただきました。

これが初めての第四連区青年布教使研修会への出講でした。演台の前に立ちますと、見渡す限り布袍・輪袈裟の各教区布教団の団長・副団長・青年布教使の方々が並び、会所を引き受けてくださったお寺の門徒の方もおられました。布袍・輪袈裟をつけておられる方があんなにも沢山の山おられる前で布教をさせていたのだのは久しぶりで、トップバッターということもあり、とても緊張しました。またその緊張が伝わったのか、お聴聞されていた山陰教区の青年布教使の方々の不安そうな顔が目に入りました。その顔を見たときに自分には一人ではなく、いつもと同じように阿弥陀さまのおはたらきをお伝えさせていただければいいのだ、と思うと少し落ち着き、お取次させていただくことができました。

終わりましたらお聴聞されていた

皆さまから講評をいただきました。山陰教区でも青年布教使の布教大会や、地区別布教など布教団員の諸先輩から様々なアドバイスをいただくといいことはありますが、他教区の副団長の方から講評・アドバイスをいただくことなどめったにない機会で大変勉強になりました。

また懇親会でもご意見・ご感想・アドバイスをいただき大変有意義な時間を過ごすことができました。この度いただきましたご意見を参考に、今後布教の現場に立つときには気をつけながら、布教使として日々研鑽を積んで参りたいと思います。



連研のための研究会に参加して

出雲組 東林寺 鱸 南 千 城

十月八日、山陰教堂にて「連研のための研究会」が開かれました。今回は、「実践目標の『貧困の克服に向けて』を連研の場でどう取り組むか」というのがテーマでした。

門徒推進員養成連続研修会、略称「連研」では、話し合い法座が行われ、そこでは連研に参加してくださった方々で、テーマごとに忌憚のない意見が交わされます。立場の違う意見に触れることの出来る貴重な機会です。僧侶が、強く意見を主張する場ではありません。

ところで近年、宗門では「貧困の克服に向けて」と題して、貧困問題への社会貢献を推進しています。連研で、この方針を押し付けられないようにしながら、如何に話し合い法座に盛り込むのか、という難題が今回のテーマなのです。

まず、ご講師の鷲尾衛鳳師より、テーマについてのお話がありました。宗門の実践目標として、貧困問題に取り組んでいること。特に、子どもたちが直面する生活困窮の実態や、貧困による不利の連鎖について、具体的な事例を交えて解説をいた

きました。この貧困問題を連研の場でどう取り組むか、二つの班に分かれて話し合いが行われ、全体会でその内容が発表されました。二つの班とも、子どもたちの貧困の現状が見え難い、現状をどうするか、といった意見が出ました。



まとめのお話して鷲尾衛鳳師から、連研での話し合い法座では、問七の「自分だけが幸せでよいのでしょうか」というテーマで、話し合うと良い旨が説明されました。問一から六では、「私にとつて幸せとはなんだろうか」といった、自身の内面を見つめたことがテーマになっています。これに対し問七では、「自分だけが幸せでよいのでしょうか」という、ともに生きていく社会に目を向けるテーマとなっています。問

一から六の話し合いで、他の人の内面を聞かせていただき、一人ひとり価値観が違うことを確認します。その上で、問七で自分とは違う他人の苦悩に目を向け、寄り添うことの大切さを感じていただくのです。

今回の研究会は、組の連研を行う上で非常に参考になりました。参加して下さる方々が喜んでくださる、内容のある連研ができればと思います。

二〇一九(令和元)年本願寺山陰教堂報恩講

十月二十一日(月)、本願寺山陰教堂の報恩講をお勤めいたしました。

午前法要は「無量寿経作法」、午後法要は「正信念仏偈作法 第二種」。結果として神門組と大田東組のご法中に、奏楽員として雅龍会の皆さまにご出勤いただきました。

今年の報恩講も、ご寺院の団体参拝や近隣寺院のご門徒・寺族の方のご参拝をいただき、本堂は満堂。

ご講師は、本願寺派布教使 黒田真隆師(兵庫教区六栗組安楽寺ご住職)。参拝の皆さまと一緒に聴聞させていただきました。



山陰教区寺族婦人会連盟五十周年記念大会

山陰教区寺族婦人会連盟が結成五十周年の節目の年を迎えるに当たり、十月十日、ビッグハート出雲「白のホール」を会場に、五十周年記念大会を開催いたしました。

大会のテーマは「Dana for World Peace」命みつめて。ご門主がお示しくださった「念仏者の生き方」のお心を体して、寺族婦人の歩む道に向かって、ともにお聴聞させていただくための大会です。

当日は朝から晴天に恵まれ、午前十時半から、来賓の皆さまご臨席のもと、式典を執り行いました。

式典では、主催者挨拶として、佐々木教務所長・福井委員長から五十年に亘る活動への感謝の辞が述べられました。その後、これまでご尽力いただいた歴代委員長に感謝の意を表し、表彰状・感謝状を贈呈いたしました。

式典に引き続き、水之江陽子師（大分教区日田組法林寺坊守）からご講話を



いただきました。ご自身のご病氣、ご家族の看病、地元の災害のことなど、体験談をもとに温かいお話を聞かせてくださいました。

昼食後のアトラクションでは、健康運動指導士の宇山民代先生から健康体操の指導をいただき、体を動かしてリラックスしました。

午後のご講話の後、河野副委員長から大会開催についての謝辞・ダイナ報告があり、午後三時、閉会となりました。

大会には、教区内寺族婦人の皆さま一六〇名のご参加があり、次代を担う若い世代の寺族婦人の皆さまも多数ご来場されました。

また、この記念大会を機に、会員の皆さま同士が情報を共有し、横のつながりを深めていただきたいという思いから、各組・各寺院での活動状況を紹介する資料を作成し配布しました。

このたび、記念すべき五十周年の年を迎えることができましたのも、多くの先人

の皆さまのおかげであり、次代へと引き継いでいくべく、さらなる発展に尽力してまいります。



最後、この大会開催に当たって、企画段階からお力添えいただきました実行委員の皆さま、資料作成等に

ご協力くださいました各組委員の皆さまに、この場をお借りして御礼申し上げます。

二〇一九（令和元）年度 門徒推進員連絡協議会 総会・研修会

七月二十日、山陰教堂教化センター研修室にて、門徒推進員連絡協議会の総会と研修会を開催しました。

門徒推進員の皆さま、七十五名のご参加でした。

午前中の総会では、昨年度の事業報告・決算報告、監査報告、今年度の事業計画・予算案についてご協議いただきました。

午後からの研修会では、「念仏者の生き方」門徒推進員の原点」をテーマに、連研中央講師の荏屋光影師（備後教区深津組光行寺）からご講義をいただきました。

「念仏者の生き方」とは？

・門徒推進員としての歩み

・なぜ門徒推進員が誕生したのか？

・何を推進していくのか？

といった提議を講義の中でいただきました。





江津組では、スローガン「結ぶ絆から広がるご縁へ」、実践目標「少子高齢化の進む地域において、いかにみ教えを相續できるのかを考える」・「貧困の克服に向けて」・「Dana for World Peace」子どもたちを育むために」を掲げ、組織としては同朋・社会部、寺院教化支援部、伝道・広報部の三部を設置し、各部ごとに担当を決めて活動を展開しています。

例えば同朋・社会部では、平和・靖国担当が「平和の鐘」を撞く取り組みを実施し、三十九カ寺中十三カ寺の協力がありました。梵鐘や喚鐘の吊された経緯や理由、本願寺派教団の戦争協力と梵鐘など仏具類の供



「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 江津組委員会について

江津組 組長 山本真文

出といったこと、戦後梵鐘を再鋳することができず、そのままになっている寺院など、もっと深く掘り下げて調査するべきではないかと思います。

寺院教化支援部では、連研・門推担当と門徒総代・仏仕担当などの連携で活動がされています。今年度特筆すべきは仏仕連と門推連協との協同事業として「合唱と合掌」をテーマに「江津市民混声合唱団」の公演と、若手布教使による「暮らしの中で大切にしたい仏教の考え方」というテーマによる布教を行う「音楽と法話のつどい」を実施したことです。市民合唱団のメンバーは仏教、特に真宗門徒の方が多いとはいえ、あまりお寺にご縁のある方々とはいえ、お寺の本堂の中での公演は独特の雰囲気があり、好評だったといえます。三十名余の合唱団のメンバー、七十名余の一般参加者、合計約百名余の「音楽と法話のつどい」はご縁が一つになるものと思われま

その他組連研は第十四期が終了し、九名の方に修了証が渡されまし



た。門徒推進員は現在十六名ですが、一名でも多くの方が中央教修を受講されることを希望します。また夏休み本願寺児童念仏奉仕団は第八回を実施し十八名が参加しました。キッズ・若者ご縁づくり、子ども居場所づくり、子ども若者寺子屋についても組として取り組んでいます。少しづつではありますが実践運動の進捗はなされていると考えております。

近 御本山用達
株式会社

川勝法衣店

0120-075-055

〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入

TEL.075-371-0367 (代)

FAX.075-371-5088

ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 JTB 松江支店

〒690-0003

松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階

TEL 0852-23-6720

FAX 0852-23-7739

営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

二〇一九年九月十八日、東京都千代田区にある国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において開催された、「全戦没者追悼法要」に、楽法会としてお参りさせていただきました。この楽法会は、山陰教区の四十五才以下の青年僧侶によって構成される任意団体で、会員同士の親睦を深め、研鑽を積むことを目的に、法座や研修会、フットサルなどのサークル活動、研修旅行などを行なっています。

このたびの参拝は研修旅行の一環としてのもので、十三名の参加がありました。

降りしきる雨の中、「平和の鐘」が鳴り響きます。そして様々な想いを胸に全国各地から集まった方たちのお念仏の声が響き渡ります。もう二度と戦争を繰り返してはならないという強い覚悟、願いが会場に満ちていることが、ひしひしと伝わってきました。

そして今回、私の胸に強く印象に残ったのは、楽法会を代表して法要に出動してくれた出雲組龍善寺・柳樂由乗君の凛とした姿は勿論のこと、何よりも法要に先立ち朗読された、相愛高校 勝山里音さんの平和作文です。「皆が幸せであるために、私たちに

憂 楽 帳

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

楽法会 会長
鹿足組 教西寺
宮内 真也

できることは何だろう。普段の生活から自分だけでなく、人のために何か小さなことが一つでもできたら、きつと変わるはず。平和と



は、皆が一日一日を自分と他人のために精一杯生き、与えられている多くの恵まれた環境に感謝する心にこそ生まれるのではないのでしょうか。」(原文まま)

平和であることが当り前と感じる今の時代に、戦争と平和という問題と真剣に向き合う勝山さんの言葉に、私は強く感銘を受けました。

絶対的正義の立場に自分を置き、自分の内面と向き合うことをせずにただ批判を繰り返すという行為は過去に学ぶことにはならないと思います。私がああ時代を生きていたら、何を思い、どう生きたらうか、今この時代に生きる私に何が出来るだろうと考える縁をいただいたことに感謝しています。

編集後記

お陰さまで佳稿に恵まれ、教区報をお届けするに至った次第です。執筆者および情報提供いただいた皆さまにお礼申しあげます。しかしながら、様々な制約により掲載できない記事もございましたこと、お許し願います。

▼本年十月、ブータン王国のプリンセス(現在のプータン国王のいとこ) Ashi Khesang 妃が来日。そして、教区内寺院にお立ち寄りくださいました。表に出ないことにも大切なことがございます。

▼報道しない自由とは、国民の知る権利のために報道機関が有する報道の自由に対して、時には報道機関が報道しないことによって国民に知らせないことも自由になってしまおうという危険性を示す用語です。

▼戦争をせずに領土拡大し続ける中国共産党の人民解放軍。チベットへの侵攻を中国共産党は「西藏人民」の「帝国主義侵略勢力および国民党反動勢力」からの「解放」と位置づけています。ご存じでしょうか。ブータンも侵略を受けつつあることを。(N)

教務所年末年始休暇について

山陰教区教務所の何末年始休暇を次の通りとさせていただきます。

二〇一九 (令和元) 年
十二月三十日 (月)
二〇二〇 (令和二) 年
一月六日 (月) まで

協賛 瀬尾浩義商店

〒七三三-〇八五一
広島市西区田方三丁目
九〇九-一三〇一
TEL 〇八二-二七二-八四六一

ご本山の団体参拝は我が社にお任せ下さい

近畿日本ツーリスト

株式会社 近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

〒690-0887 松江市殿町 517 アルファステイ殿町 1F
TEL 0852-22-4893 / FAX 0852-27-8359
営業時間 10:00~17:30 (土・日・祝日休業)